

新たな「北陸圏広域地方計画(案)」  
説明資料  
概要版

平成27年3月25日  
北陸圏広域地方計画推進室

# 目次

◇はじめに .....	1
■「新たな」北陸圏広域地方計画(案) ポイント .....	2
■北陸圏の概況 .....	3～8
■北陸圏の現状と課題	
課題1 子育てしながら共働きできるライフスタイルの維持・向上 .....	9
課題2 少子化の進展及び若い世代の人口流出に歯止めをかける、雇用環境の充実 .....	10
課題3 厳しい自然環境の中でも安全・安心で快適な生活レベルの維持・向上 .....	11
課題4 接続する都市群と半島や中山間地の共生 .....	12
課題5 地理的優位性と北陸ブランド力を生かした産業・営農の強化 .....	13
課題6 太平洋側の災害リスクの高まりに伴う本社機能移転などへの積極的な対応 .....	14
課題7 優れた観光資源を活かした、国内外誘致のための取組 .....	15
■将来の姿(将来像) .....	16
■北陸圏の将来像を実現するための戦略目標 .....	17
目標1 個性ある北陸圏の創生 .....	18～19
目標2 競争力のある産業の育成 .....	20
目標3 日本海国土軸の強化と太平洋側との連携強化 .....	21
目標4 対流・交流人口の創出 .....	22

### 1. 本資料の位置付け

新たな「北陸圏広域地方計画」の検討過程の概要をまとめたものであり、今後北陸圏がどうあるべきか、何をすべきかをご議論いただくため、説明資料概要版を取りまとめたものである。

### 2. 新たな「北陸圏広域地方計画」検討について

#### (1) 計画策定から5年。新しい計画策定へ。

- ・北陸圏広域地方計画は平成21年8月に策定。
- ・この5年間、広域連携による取組を実施、北陸圏は「暮らしやすさ」「環日本海の中核拠点」として着実に前進（H26中間評価）。
- ・一方、急激な人口減少、少子化、巨大災害の切迫とリスク対応など、我が国土に係る大きな変化への対応が急務。
- ・国土のグランドデザイン2050も踏まえ、新しい10年を見据えて広域地方計画を見直し、新たな計画を策定するものである。



「新しい10年」を見据えて  
～北陸圏を取り巻く  
大きな変化への対応～

- 2015 (H27) . 3 北陸新幹線  
(長野～富山・金沢) 開業
  - 2020 (H32) 東京オリンピック・  
パラリンピック
  - 2023 (H35) 北陸新幹線  
(金沢～敦賀) 開業
  - 2027 (H39) リニア中央新幹線  
(東京～名古屋) 開業
- また、首都直下地震・南海トラフ地震の発生確率の高まり

#### (2) 「強み」を活かし、「弱み」を克服 ～北陸圏の現状、そして課題～

- ・北陸圏は、働きやすく、子育てしやすい優れた生活環境である一方で、**若年層を中心とした人口が流出し、人口減少・高齢化の進行が早い。**
- ・厳しい自然環境の反面、**豊かな自然資産、観光資産**を有する。
- ・特徴ある**世界レベルの産業が集積**している。
- ・北陸新幹線開業への期待が大きく、さらなる観光や産業交流の実現のための取組や**広域交通体系の整備**が望まれている。
- ・加えて、**太平洋側の災害リスクの高まり**に伴う本社機能移転や、防災面での代替性を発揮する**ネットワークの強化**など、切迫した課題への対応が急務となっている。



#### (3) 新たな「北陸圏広域地方計画」策定に向けて

- ・「北陸圏の現状」を把握、認識したうえで課題を抽出、さらに新しい10年を見据えて、「**北陸圏が目指すべき方向、将来像**」を検討する。
- ・そして、それを実現するための「**戦略目標**」を掲げ、連携して取り組むプロジェクト、隣接圏域との連携方策等を検討していく。
- ・なお、具体的な連携プロジェクト、隣接圏域との交流・連携については、**来年度において詳細な検討を進めていく**予定である。

## 背景

- ＜生活環境・自然環境＞
  - (1)働きやすく、子育てしやすい環境
  - (2)高い世帯収入
  - (3)人口減少・空き家の増加・高齢化の進行
  - (4)厳しい自然環境の反面、豊かな自然資産
- ＜産業環境・観光誘客人口減少＞
  - (1)特徴ある世界レベルの産業の集積や人材によって時代の変化に対応
  - (2)災害リスク等を契機として高まる産業立地の優位性
  - (3)ポテンシャルの高まる国際物流環境
  - (4)完日本海沿岸諸国と対面し、さらに三大都市圏と近接するという地理的優位性があるが、十分に活かされていない
  - (5)圏域の食料供給力とブランド力の更なる強化
  - (6)多様な観光資源、食文化、農業資源を活かした、多数の観光誘客
  - (7)交通ネットワーク充実で、更なる拡充が見込まれる国内外観光客

## 課題

- (1)子育てしながら共働きできるライフスタイルの維持・向上
- (2)少子化の進展及び若い世代の人口流出に歯止めをかける、雇用環境の充実
- (3)厳しい自然環境の中でも安全・安心で快適な生活レベルの維持・向上
- (4)接続する都市群と半島や中山間地の共生
- (5)地理的優位性と北陸ブランド力を生かした産業・営農の強化
- (6)太平洋側の災害リスクの高まりに伴う本社機能移転などへの積極的な対応
- (7)優れた観光資源を活かした、国内外誘致のための取組

## 将来の姿(将来像)

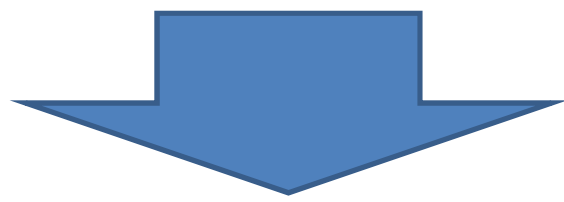
- (1)どこよりも輝き、  
幸せな暮らしが実現できる  
新・北陸
- (2)日本海・太平洋 2面活用型国土形成を牽引する 新・北陸

## 目指すべき方向

- (1)北陸の優れた子育てに有利な地域コミュニティや環境を活かした少子化への歯止め
- (2)人口流出を接続する都市群で留めるとともに環境と共生した魅力ある居住機会や教育環境提供で人口誘致
- (3)国内外の本社機能、製造拠点、食料供給機能等の集積により、太平洋ベルトを代替する日本海側ベルトを形成するとともに、太平洋側との連携を強化
- (4)三大都市圏等との観光交流や、新たなゴールデンルートとなる海外観光客の観光ルート形成

## 将来像の実現のための戦略目標

- (1)個性ある北陸圏の創生  
⇒更なる安全安心、環境豊かな暮らしの充実  
⇒コンパクト+ネットワーク
- (2)競争力のある産業の育成  
⇒北陸のものづくり産業や農林水産業の一層の活性化
- (3)日本海国土軸の強化と太平洋側との連携強化  
⇒日本海沿岸地域との連携強化と太平洋側との連携強化
- (4)対流・交流人口の創出  
⇒北陸の魅力を活かした国内外との対流・交流の創出



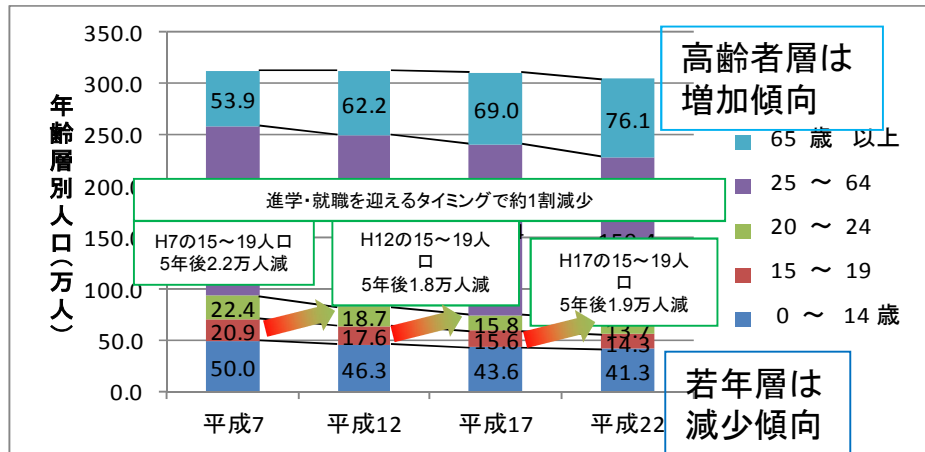
**12の戦略目標**

# 北陸圏の概況

## (1) 人口動向

・少子高齢化の進行、進学・就職時の人口流出により、全国よりも人口減少が進んでいる

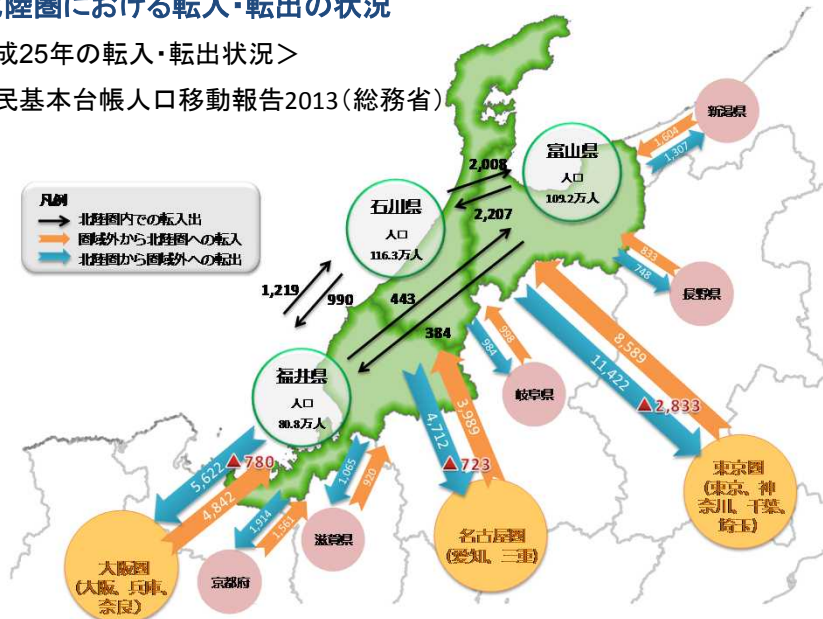
### ●年齢層別人口の推移



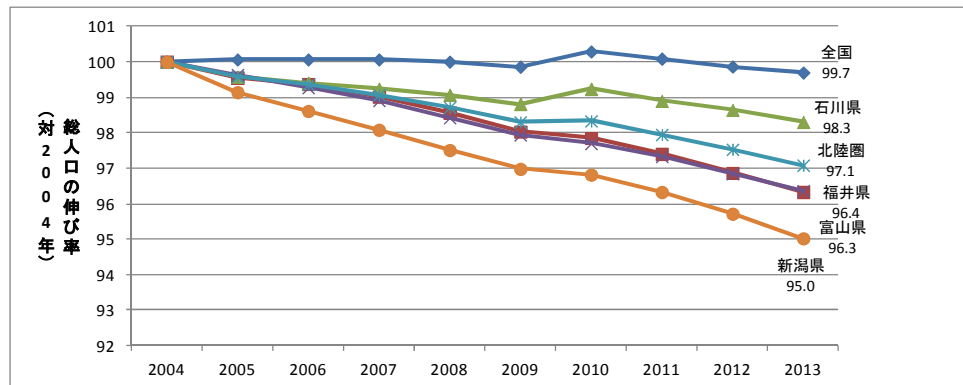
### ●北陸圏における転入・転出の状況

<平成25年の転入・転出状況>

出典:住民基本台帳人口移動報告2013(総務省)



### ●北陸圏の人口の伸び率(対2004年)



出典:人口推計(総務省)

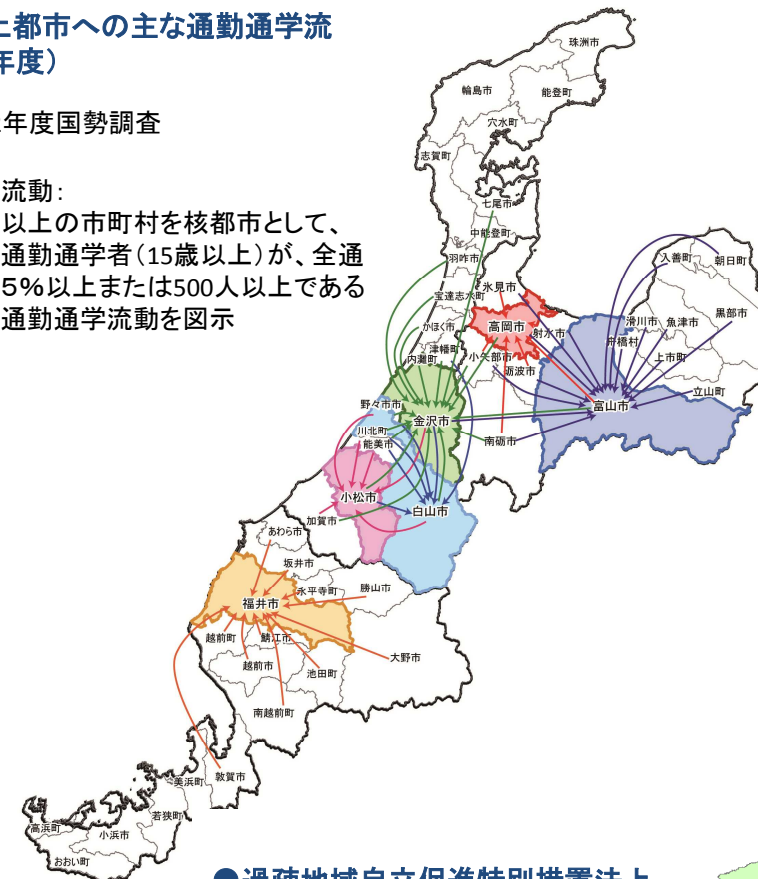
## (2) 都市間のつながり、地域的な特徴

・過疎化も進行しており、隣接する都市間のつながりが重要となっている

### ●10万人以上都市への主な通勤通学流動(平成22年度)

出典平成22年度国勢調査

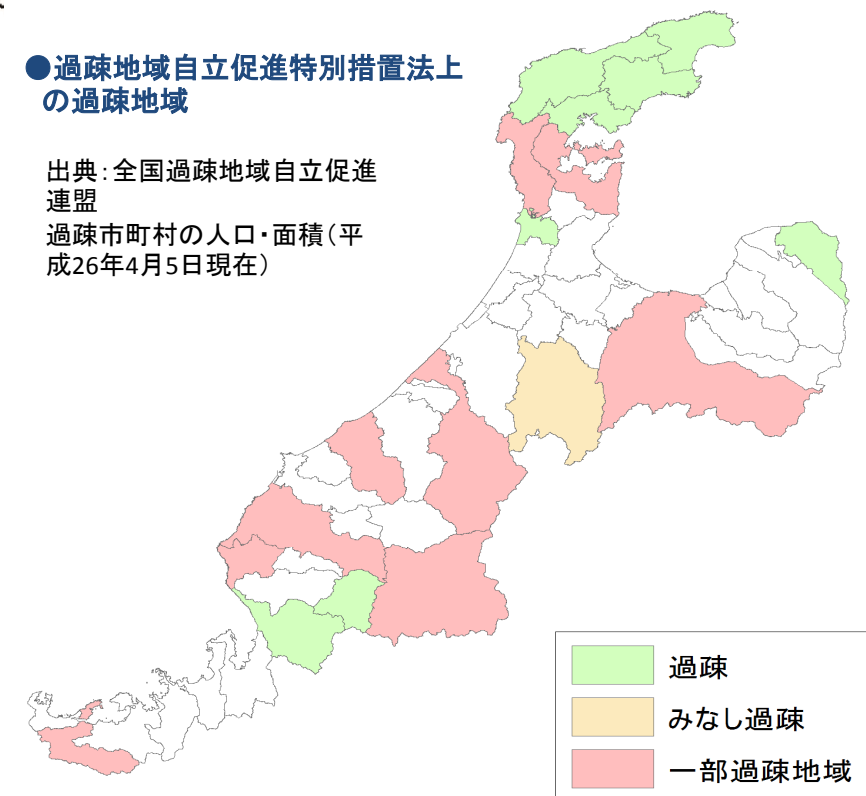
※通勤通学流動:  
人口10万人以上の市町村を核都市として、核都市への通勤通学者(15歳以上)が、全通勤通学者の5%以上または500人以上である市町村間の通勤通学流動を图示



### ●過疎地域自立促進特別措置法上の過疎地域

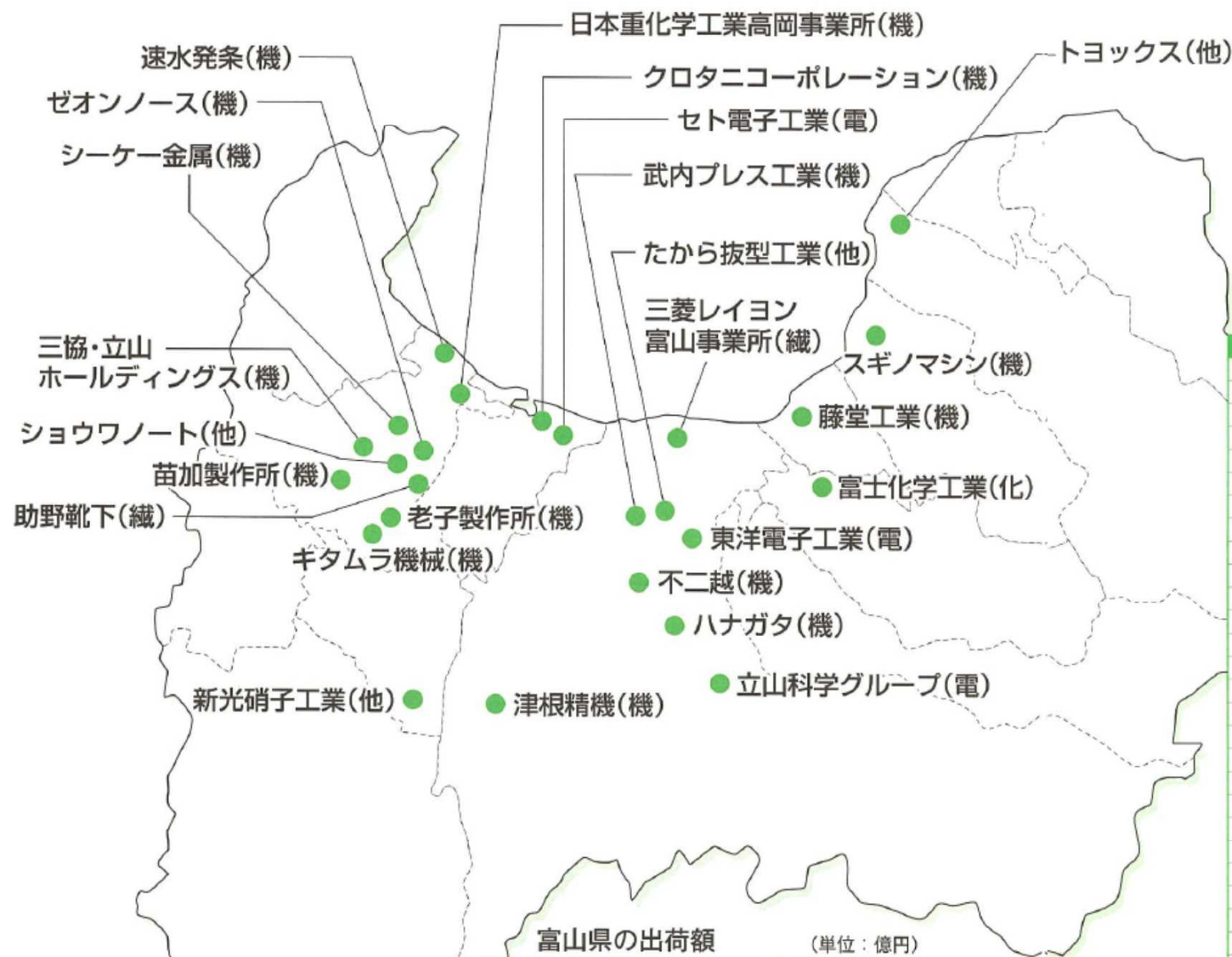
出典:全国過疎地域自立促進連盟

過疎市町村の人口・面積(平成26年4月5日現在)



## (3) 北陸圏の地域的な特徴 ①

### 富山県のシェアトップ企業 (25社、34品目)



#### 富山県の特徴

1事業所あたりの従業員数が比較的多く(富山県全国8位、石川県・福井県はそれぞれ43位と42位)、組織的な生産体制がとれるため、大量受注などに対応しやすい。背景には、米作の歴史基盤から共同体意識が特に強いことが挙げられる。

富山県の出荷額 (単位: 億円)

順位	業種	出荷額等
1	一般機械	5,555
2	医薬品・化学工業	5,241
3	非鉄金属	4,981
4	金属製品	4,225
5	電子部品	4,168
6	プラスチック製品	2,028
7	鉄鋼業	1,801

企業	製品名	シェア
機・金属		
株老子製作所	梵鐘、半鐘、教会鐘	日本 60%
キタムラ機械株	次世代複合マシニングセンタ「Mycenter」	世界 約10%
株クロタニコーポレーション	大型船舶用スクリューの原料(アルミ青銅)	世界 70%
株クロタニコーポレーション	非鉄金属地金	日本 80%
三協・立山ホールディングス株	アルミニウム合金押出形材(三協立山アルミ+三協マテリアル)	日本 16%
シーケー金属株	脱塩ビ&鉛レス管端防食継手	日本 100%
シーケー金属株	めっき(環境対応・溶融亜鉛めっき)	世界 100%
株スギノマシン	湿式微粒化装置「スターバースト」	日本 52%
株ゼオンノース	アルミ再生回転(溶解)炉	日本 60%
株ゼオンノース	アルミドross灰処理設備 振動圧搾式アルミ回収装置(V-MADDC)	日本 100%
武内プレス工業株	マーキングベンボディ(アルミ製)	日本 70%
武内プレス工業株	押し出しチューブ(アルミ製、化粧品、医薬品など)	日本 40%
武内プレス工業株	エアゾール缶(アルミ製)	日本 60%
津根精機株	丸鋸切断機	日本 40%
株藤堂工業	自動調心クラッチリリース軸受	日本 60%
日本重化学工業株高岡事業所	窒化合金鉄	日本 50%
苗加製作所	業務用アルミ炊飯内釜(ガス用、電磁用)	日本 90%
苗加製作所	業務用回転釜のアルミ内釜(ガス式・電磁用)	日本 80~90%
株ハナガタ	自動包装機(フィルム包装)	日本 70%
速水発条株	自動車用シートベルト巻取り用ぜんまい	日本 40%
株不二越	ブローチカッター(切削工具)	日本 60%
株不二越	スライサー(溝入れ、切断機械)	日本 40%
株不二越	自動車ライン用ロボット	日本 40%
電気・電子		
株セト電子工業	小型LED表示器	日本 35%
立山科学グループ	なべ検知機能付き小型Siセンサー	日本 95%以上
株東洋電子工業	@ Station(アットステーション)	日本 70.6%
繊維		
助野靴下株	靴下全般	日本 約10%
株三菱レイヨン富山事業所	プラスチック光ファイバー	日本 約75%
化学		
株富士化学工業	高品質天然アスタキサンチン	世界 70%
その他(プラスチック、窯業、その他)		
株ショウワノート	学習帳(小学生用)	日本 50%
株新光硝子工業	樹脂合わせガラス	日本 50~60%
株新光硝子工業	ガラスの曲げ加工	日本 50~60%
株たから抜型工業	高精度抜型	日本 100%
株トヨックス	耐圧ホース	日本 70%

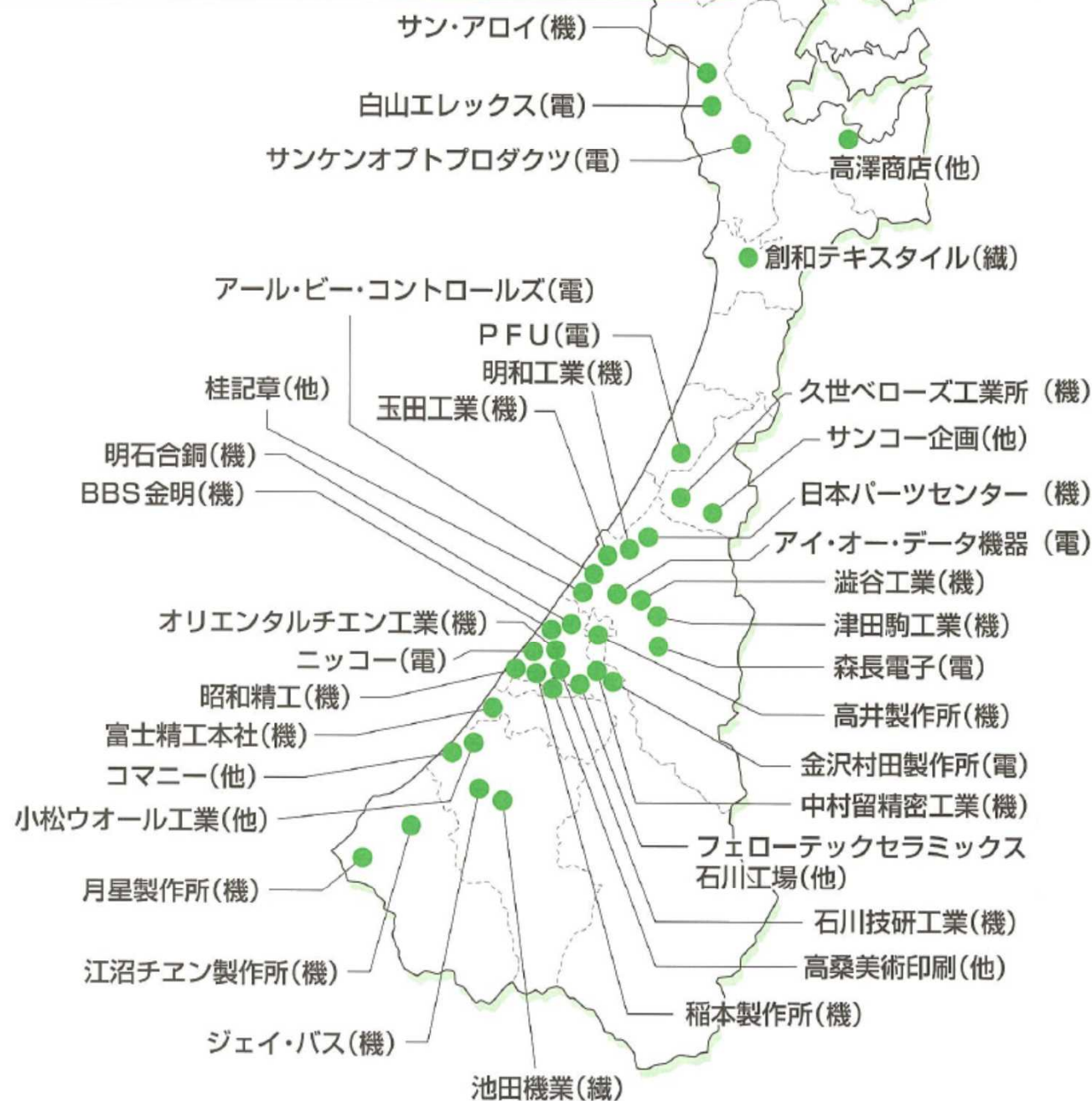
(機): 機械・金属、(電): 電気・電子、(織): 繊維、(化): 化学、(他): その他

## (3) 北陸圏の地域的な特徴 の②

### 石川県のシェアトップ企業 (37社、44品目)

#### 石川県の特徴

経済産業大臣指定伝統的工芸品数が多く（人口100万人当たり全国2位）、秀でた職人技を持つ企業も多いことから、取引先の要望に合わせて作る一品ものに強みを発揮する。このような風土から、「製品=作品」ととらえるマインドがあり、自社ブランドを持ちたい意欲には根強いものがある。



能登ダイヤ工業(他)

### 石川県の出荷額 (単位：億円)

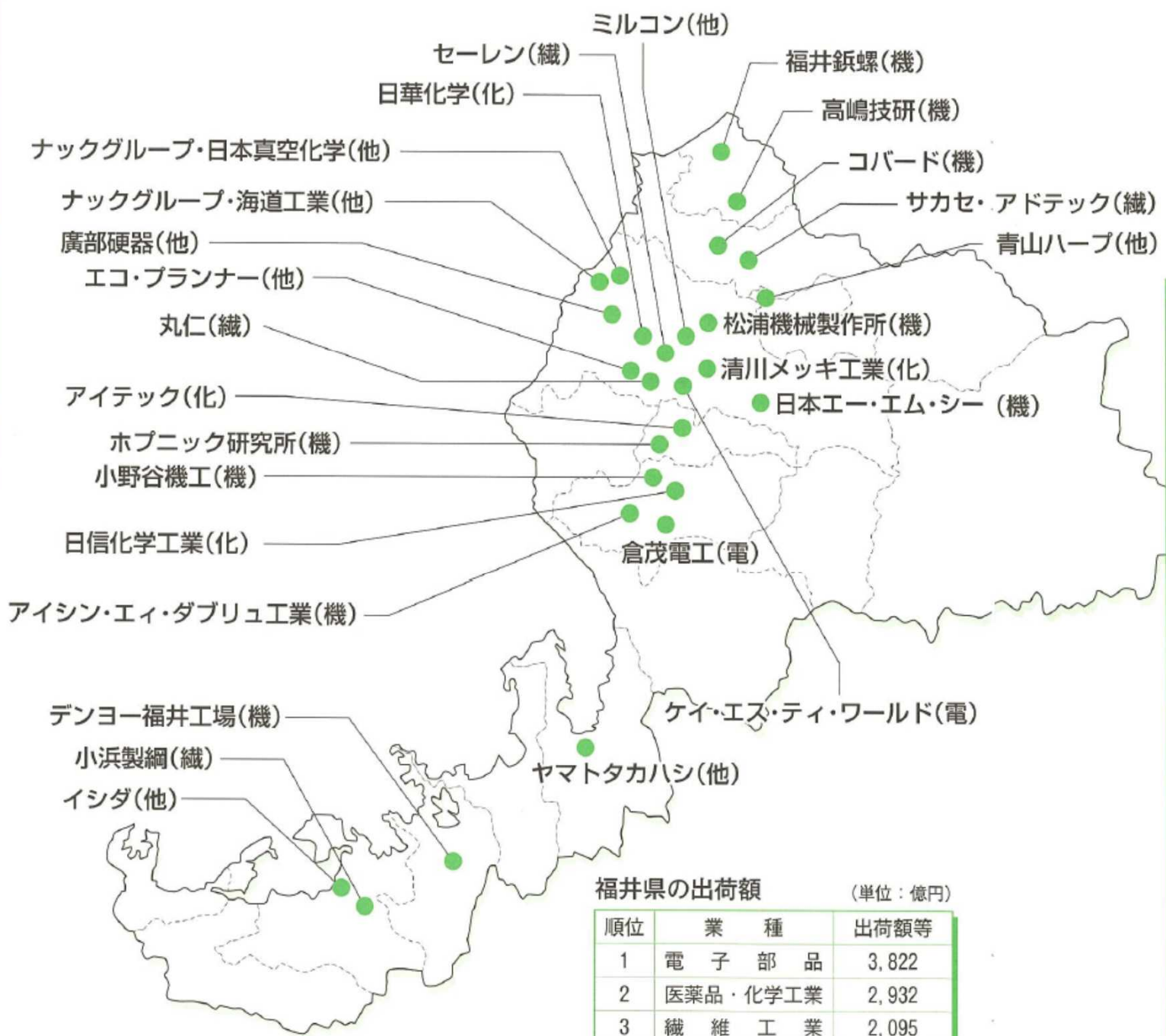
順位	業種	出荷額等
1	一般機械	8,583
2	電子部品	3,140
3	情報通信機器	2,414
4	繊維工業	1,655
5	食料品	1,480
6	医薬品・化学工業	1,479
7	金属製品	1,390

企業	製品名	シェア
<b>機械・金属</b>		
㈱明石合銅	バイメタルシリンダーブロック	日本 90%
石川技研工業㈱	建築物用ステンレスクラッドパイプ	日本 40%
㈱稲本製作所	業務用大型洗濯機、乾燥機	日本 50%
㈱江沼チエン製作所	フォークリフト用チエン	日本 60%
㈱江沼チエン製作所	農機具用チエン	日本 80%
オリエンタルチエン工業㈱	超小型チェーン	日本 100%
㈱久世ベローズ工業所	クリーンパイプ	日本 40~50%
㈱久世ベローズ工業所	クリーンフィッティング	日本 40~50%
㈱サン・アロイ	超硬合金	日本 10~15%
ジェイ・バス㈱	大型観光バス	日本 50%
滋谷工業㈱	びん詰機械	日本 約60%
滋谷工業㈱	BGA ハンダボールマウンタ	日本 約80%
昭和精工㈱	CNC ドリルマシン	日本 60~70%
昭和精工㈱	カッターマシン	日本 70~80%
㈱高井製作所	豆腐・油揚げ製造機械	日本 35%
玉田工業㈱	石油貯蔵地下タンク (SF 二重殻タンク)	日本 60%
㈱月星製作所	オートバイ用スポーク	日本 90%
津田駒工業㈱	ジェットルーム (織機)	日本 60%
中村留精密工業㈱	自動レンズ芯取機	日本 70%
㈱日本パーツセンター	有孔折板	日本 60%
㈱BBS 金明	シリコンウェハエッジ研磨装置	世界 90%
㈱富士精工本社	原子力発電用放射線遮へい屏	日本 70%
明和工業㈱	農業施設用湿式集塵装置	日本 90%
明和工業㈱	農業排水処理装置	日本 40%
<b>電気・電子</b>		
アール・ビー・コントロールズ㈱	電子点火装置	日本 70%
アール・ビー・コントロールズ㈱	地上デジタル浴室テレビ	日本 50%
㈱アイ・オー・データ機器	パソコン用記録型 DVD ドライブ	日本 27.6%
㈱アイ・オー・データ機器	パソコン用液晶ディスプレイ	日本 18.2%
㈱金沢村田製作所	表面波フィルタ	世界 40%
サンケンオプトプロダクツ㈱	CCFL (冷陰極蛍光管)	世界 20~40%
ニッコー㈱	小型風力発電機	日本 30%
㈱白山エレックス	通信用保安器	日本 35%
㈱PFU	業務用イメージスキャナ	日本 65%
森長電子㈱	避雷器 (電源用高性能避雷器)	日本 約20%
<b>繊維</b>		
池田機業㈱	紳士用スーツ袖裏	日本 30%
創和テキスタイル㈱	ユニフォーム用織布	日本 42%
<b>その他 (プラスチック、窯業、その他)</b>		
桂記章㈱	金属アクセサリ類、校章、社章、団体参加章	日本 30%
小松ウオール工業㈱	パーティション (間仕切り)	日本 21.6%
コマニー㈱	パーティション (間仕切り)	日本 18%
サンコー企画㈱	シート式道路標示	日本 80%
高桑美術印刷㈱	清酒ラベル	日本 20%
㈱高澤商店	和ろうそく	日本 20%
能登ダイヤ工業㈱	業務用珪藻土切り出し卓上コンロ	日本 約70~80%
㈱フェローテックセラミックス石川工場	快削性セラミックス	日本 60%

(機)：機械・金属、(電)：電気・電子、(織)：繊維、(化)：化学、(他)：その他

## (3) 北陸圏の地域的な特徴 の③

### 福井県のシェアトップ企業 (27社、36品目)



福井県の出荷額 (単位：億円)

順位	業種	出荷額等
1	電子部品	3,822
2	医薬品・化学工業	2,932
3	繊維工業	2,095
4	一般機械	1,599
5	非鉄金属	1,573
6	電気機械	1,423
7	プラスチック製品	1,411

### 福井県の特徴

独立心が旺盛で、人口あたりの社長輩出数が全国1位である（帝国データバンク調べ）。一方、経営規模が小さく、経営資源も不足する傾向があるため、産に対する官学応援体制が充実している。

企業	製品名	シェア
<b>機械・金属</b>		
アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)	トルクコンバーター (T/C)	日本 20%
小野谷機工(株)	全自動大型タイヤ交換機	日本 100%
株コバード	手包みを超えた究極の包成機「マジックハンド」	世界 100%
株コバード	求肥用蒸煉機	日本 80%以上
高嶋技研(株)	X線キャップ締付検査装置	日本 15~20%
デンヨー(株)福井工場	エンジン溶接機	日本 約55%
株日本エー・エム・シー	高圧配管用継ぎ手	日本 50%
福井鋌螺(株)	蛍光灯ピン	日本 60%
株ホブニック研究所	視力補正用高屈折偏光レンズ	世界 90%
株松浦機械製作所	5軸制御立形マシニングセンタ	日本 60%
<b>繊維</b>		
小浜製綱(株)	船舶用ロープ	日本 約10%
サカセ・アドテック(株)	三軸織物複合材料	世界 100%
セーレン(株)	カーシート生地	日本 35~40%
セーレン(株)	プラズマディスプレイ用電磁波遮蔽材料	世界 10%
セーレン(株)	ビスコテックス PR シート	オンリーワン
株丸仁	反射材「ライトフォース」	日本 100%
株丸仁	反射燃り糸「ライトフォース・ヤーン」	日本 100%
<b>化学</b>		
アイテック(株)	めがね枠めっき	日本 70%
アイテック(株)	ゴルフ用カーボンシャフトの装飾	世界 90%
清川メッキ工業(株)	ナノめっき技術	非公開
日華化学(株)	カーテンに防炎性を付与する薬剤（防炎剤）	日本 70%
日信化学工業(株)	ソルバイン（溶剤可溶タイプ）	日本 80%
日信化学工業(株)	ビニプラン（水性タイプ）	日本 90%
<b>電気・電子</b>		
倉茂電工(株)	水中ポンプ用フロートスイッチ	日本 70%
倉茂電工(株)	溶接ロボットケーブル	日本 30%
ケイ・エス・ティ・ワールド(株)	厚膜熱酸化膜付ウェーハ	世界 70%
<b>その他（プラスチック、窯業、その他）</b>		
青山ハープ(株)	ハープ	日本 100%
株イシダ	若狭塗箸	日本 20%
株エコ・プランナー	可動堰スクリーン取水装置「GSゲートスクリーン」	日本 100%
ナックグループ (株)海道工業	道路反射鏡（カーブミラー）	日本 40%
ナックグループ 日本真空化学(株)	アクリルパイプ	日本 80%
ナックグループ 日本真空化学(株)	樹脂製鏡面	日本 70%
ナックグループ 日本真空化学(株)	ナック・ヘルスパー（FRA）	日本 100%
株廣部硬器	警察・消防署の紋章	日本 70%
株ミルコン	苔・藻類が早期に自生するコンクリート製品「JBロック」	日本 100%
ヤマトタカハシ(株)	おぼろ昆布シート（機械加工）	日本 100%

(機)：機械・金属、(電)：電気・電子、(織)：繊維、(化)：化学、(他)：その他



## (4) 北陸新幹線に対する期待

### ■沿線市町村間の交流拡大に対する期待

・首都圏～北陸圏間の需要に加えて、通勤通学圏の拡大、観光での移動範囲の拡大、交流のハブとしての役割など、沿線市町村間の交流拡大に対する期待がある。

### ■北陸圏と首都圏との時間距離が短縮

・東京駅～金沢駅間が2時間28分で結ばれ、従来よりも1時間19分短縮される。これにより、東京駅～大阪駅間(2時間22分 ※2015/3/14ダイヤ改正後)とほぼ同じ所要時間で移動可能となる。

### ●沿線市町村における北陸新幹線への期待

**山野 金沢市長**  
【金沢駅】

- ・新幹線は全体のパイを大きくする。金沢を訪れる観光客10人のうち2人が能登に寄るなら、新幹線で金沢が20人増えれば能登は4人になる。
- ・(ストロー現象より)撤退する会社がいくつか出るだろう。しかし、支店を置く価値がある都市と思ってもらうためにも、金沢のブランドを地道に磨くほかない。

**高橋 高岡市長**  
【新高岡駅】

- ・駐車スペースを800台くらい用意するので、駐車場を探してうろろろすることはない。新高岡駅はハブ空港ならぬ、ハブ駅として大いに利用してもらいたい。
- ・藩政期から切っても切れない縁のある金沢に「高岡もおもしろいよ」と紹介してもらいたい。周辺地域としっかり連携していく。
- ・新高岡駅は遠距離の結節点

**堀内 黒部市長**  
【黒部宇奈月温泉駅】

- ・富山県は教育県とか製造業が盛んだとか堅いイメージが強い。駅名に温泉が付けば、富山県にも遊ぶ所があるとわかってもらえる。
- ・(YKKの本社機能移転に関し)社員や家族に「生活はどうなの?」って言われたい。この地域の自然、景観、子育て、教育、医療水準を高めるきっかけにしたい。

**米田 糸魚川市長**  
【糸魚川駅】

- ・海がきれいで、山あり川ありなんて、全国どこでも同じ。糸魚川に來れば、間違いなくジオ学習ができる。アップダウンが激しい観光よりも、教育は持続していくのが一番の魅力。

**村山 上越市長**  
【上越妙高駅】

- ・長野は完全に通勤・通学圏となり、富山や金沢もそうなる。朝と夜だけでも最速型が止まれば、我々の生活圏は大きく変わる。観光交流にとどまらず、日常生活の交流が始まれば、北陸新幹線というパイはもっと太くなる。
- ・新潟、長野、金沢にある支店を上越に移せば、北信越全体をカバーできる。

**足立 飯山市長**  
【飯山駅】

- ・海外のスキー客は10日ほど泊まって、あちこちのスキー場を楽しむ。彼らは北海道からこっち(高原や斑尾高原など)に向かいつつある。
- ・飯山駅を拠点とする信越自然郷は極端に言えば、お金をあまり使わなくても、自分のスタイルで楽しめるのが最大の魅力。
- ・日本の原風景を生かす。

**加藤 長野市長**  
【長野駅】

- ・金沢に63分で着くんだから劇的な変化だ。ちょっと長野に寄って、すぐに富山、金沢に向かう可能性が高い。
- ・沿線で競争するのではない。切磋琢磨するんだ。
- ・沿線は互いに兄弟。一丸となっていけるような企画をどんどん打っていくべき。



**2015年3月14日**  
北陸新幹線(長野～富山・金沢)開業

**森 富山市長**  
【富山駅】

- ・市民は富山にないものを求めて金沢に行く。だったら、金沢の文化や歴史、伝統を「我がもの」だと思えばいい。富山で暮らす最大の魅力は、新幹線に乗れば20分で金沢に行けること。
- ・外国人には「金沢21世紀美術館も五箇山もうちの街ですよ」と紹介する。

**構想から半世紀 北陸に到達までの歩み**

1965年9月	1日内閣で北陸新幹線建設が提唱される
1967年12月	北回り新幹線建設促進同盟会結成(72年7月、北陸新幹線建設促進同盟会に名称変更)
1973年11月	北陸新幹線(東京・大阪間)整備計画決定
1985年12月	高崎・小松間工事実施計画許可申請
1992年8月	石動・金沢間許可・着工及び新幹線金沢駅緊急整備事業着工
1997年10月	高崎・長野間開業
2005年4月	富山・金沢間のフル規格での工事実施計画を認可
2005年6月	富山・金沢間起工式
2013年6月	新駅名が決定
2013年12月	長野・黒部宇奈月温泉で走行試験
2014年5月	24日富山駅でレール締結式
2014年8月	27日開業日、所要時間発表
2014年10月	特急料金認可申請
2015年3月	14日金沢開業

### ●北陸新幹線開業前後の所要時間の比較

開業後の所要時間の比較	
東京駅～金沢駅間	東京駅～富山駅間
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行(上越新幹線経由) 3時間47分(乗換1回 越後湯沢駅)</li> <li>・新幹線 <b>2時間28分(乗換0回) 【1時間19分短縮】</b></li> <li>・航空機(空港までのアクセス時間含む) 約3時間00分(乗換3回 浜松町駅、羽田空港、小松空港)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行(上越新幹線経由) 3時間11分(乗換1回 越後湯沢駅)</li> <li>・新幹線 <b>2時間8分(乗換0回) 【1時間3分短縮】</b></li> </ul>

出典:北陸信越運輸局資料

※北國新聞記事より

## (5) 北陸圏の特徴(他圏域との対比)

- 住みやすさランキングの上位50市に、北陸圏の19市がランクイン。
- 圏域住民の意識として、住みやすさ、自然、教育・文化に対する評価が全国トップ水準。一方で、交通利便に対する評価が低迷。

### ● 住みよさランキング 総合評価(上位50市)

順位	市名 (都道府県名)	偏差値	順位	市名 (都道府県名)	偏差値	順位	市名 (都道府県名)	偏差値
1	印西(千葉)	61.12	21	黒部(富山)	55.95	41	七尾(石川)	54.41
2	坂井(福井)	57.92	22	下松(山口)	55.88	42	大垣(岐阜)	54.37
3	野々市(石川)	57.88	23	敦賀(福井)	55.70	43	那珂(茨城)	54.36
4	長久手(愛知)	57.63	24	滑川(富山)	55.60	44	東根(山形)	54.25
5	守谷(茨城)	57.40	25	桑名(三重)	55.48	45	彦根(滋賀)	54.13
6	鯖江(福井)	57.37	26	箕面(大阪)	55.18	46	小松(石川)	54.12
7	かほく(石川)	57.31	27	芦屋(兵庫)	55.14	47	いなべ(三重)	54.11
8	本巢(岐阜)	57.10	28	白山(石川)	55.14	48	氷見(富山)	54.07
9	能美(石川)	57.08	29	中央(山梨)	55.10	49	守山(滋賀)	54.05
10	名取(宮城)	56.79	30	美濃加茂(岐阜)	54.96	50	栗東(滋賀)	54.02
11	みより(愛知)	56.7	31	合志(熊本)	54.86			
12	福井(福井)	56.56	32	越前(福井)	54.85			
13	砺波(富山)	56.53	33	鳥栖(佐賀)	54.74			
14	つくば(茨城)	56.47	34	生駒(奈良)	54.68			
15	魚津(富山)	56.45	35	富山(富山)	54.66			
16	東海(愛知)	56.35	36	高岡(富山)	54.53			
17	草津(滋賀)	56.29	37	甲賀(滋賀)	54.52			
18	日進(愛知)	56.17	38	豊名(愛知)	54.52			
19	成田(千葉)	56.05	39	弥富(愛知)	54.50			
20	射水(富山)	56.01	40	米原(滋賀)	54.47			

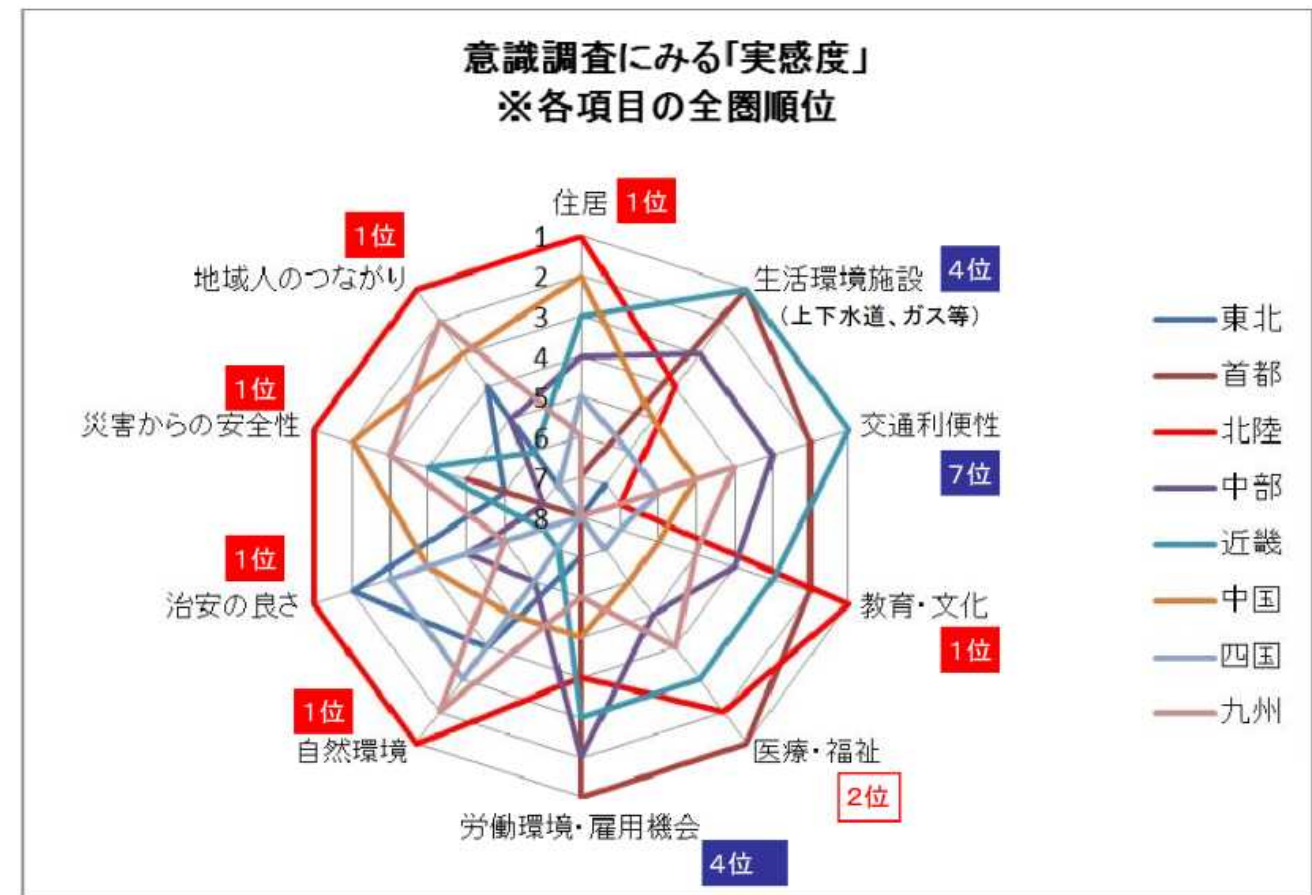
出典:「都市データパック」東洋経済(2014年)

※安心度、利便度、快適度、富裕度、住宅水準充実度の5つのカテゴリーに分類し、ランク付け  
 ※新潟県内の最上位は、妙高63位

【参考】経済企画庁が「豊かさ指数」として発表した98年版新国民生活指標によると、富山県は「住む」分野で6年連続全国第1位となるなど全国トップクラスの「住みよい県」として高く評価されている。

### ● 圏域住民の意識(他圏域との対比)

- 「満足実感度」は、10項目中、6項目がトップ。
- なかでも、「自然環境」、「治安」、「災害からの安全性」、「地域や人のつながり」は断然トップ。
- 一方で、「交通利便性」、「生活環境施設」、「労働環境・雇用機会」が足りないと感じている。



出典:平成25年度広域地方計画のモニタリングにおける意識調査  
 (平成25年6月 国土交通省国土政策局)

## 課題1 子育てしながら共働きできるライフスタイルの維持・向上

**課題(1) 親が孫の面倒をみることのできる環境、地域コミュニティの高さ、生活環境の充実**

- ・三世同居、地域コミュニティが高く、核家族世帯も少ない。

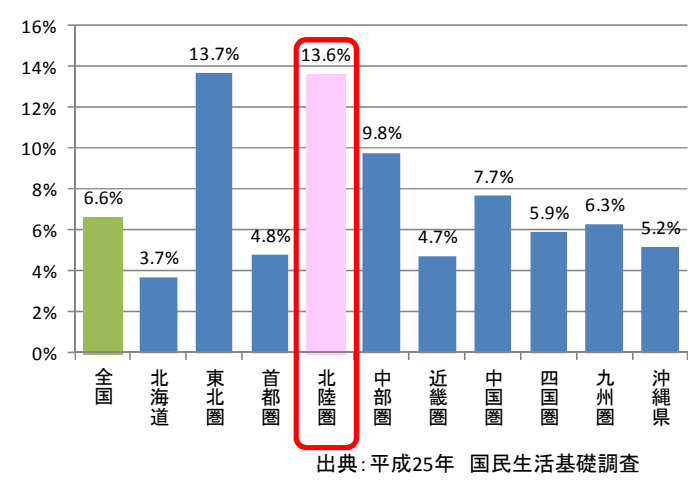
**課題(2) 女性の社会参加がしやすく共働きとなることによる子育てにも有利な経済的なゆとりの更なる向上**

- ・高い有効求人倍率・女性の就業率・共働き率等により、世帯収入が高い。

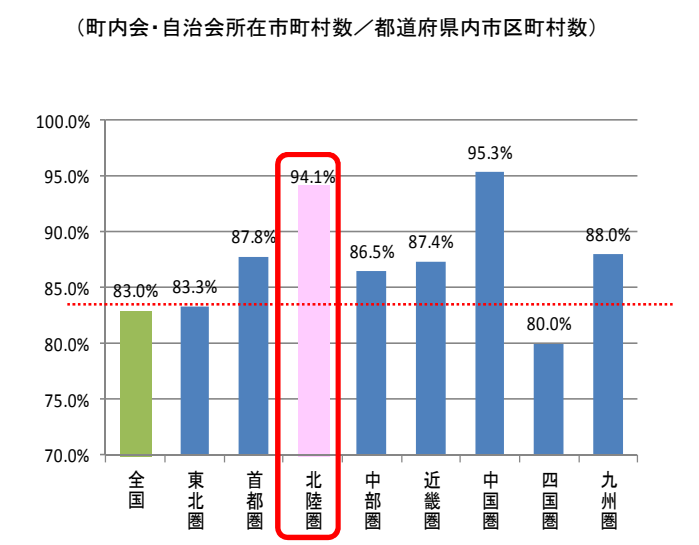
**課題(3) 教育等含めた子育てしやすい社会環境の維持・向上**

- ・保育施設等も充実し、初等・中等教育にも優れ、職住も近接するなど、子育てしやすい社会環境がある。

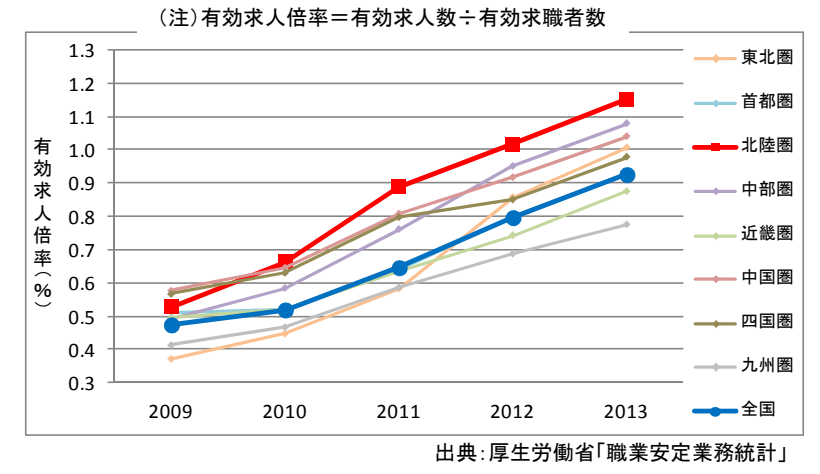
### ●三世同居率(圏域別)



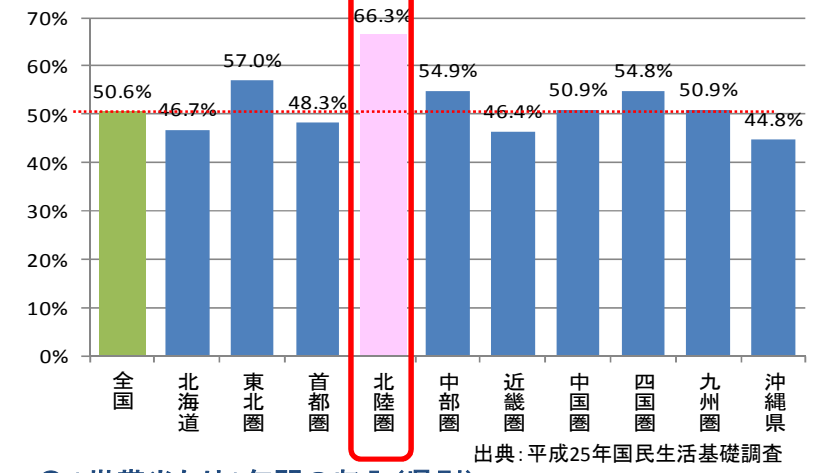
### ●町内会・自治会所在市町村の割合(圏域別)



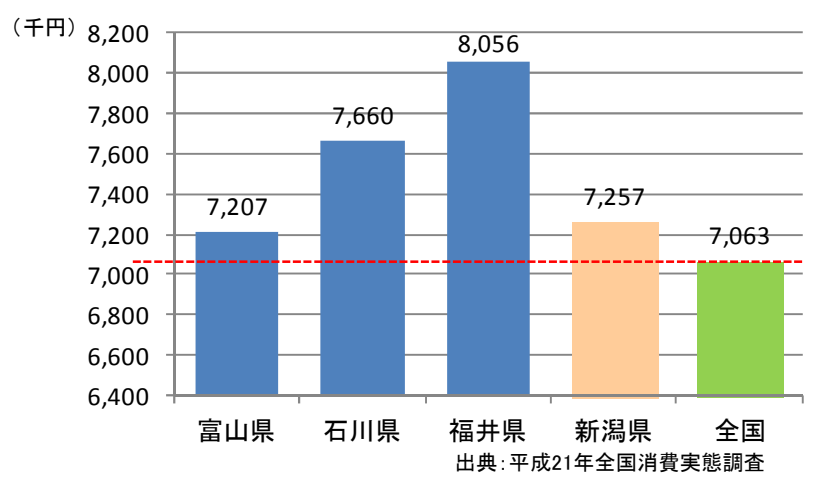
### ●有効求人倍率の推移(圏域別)



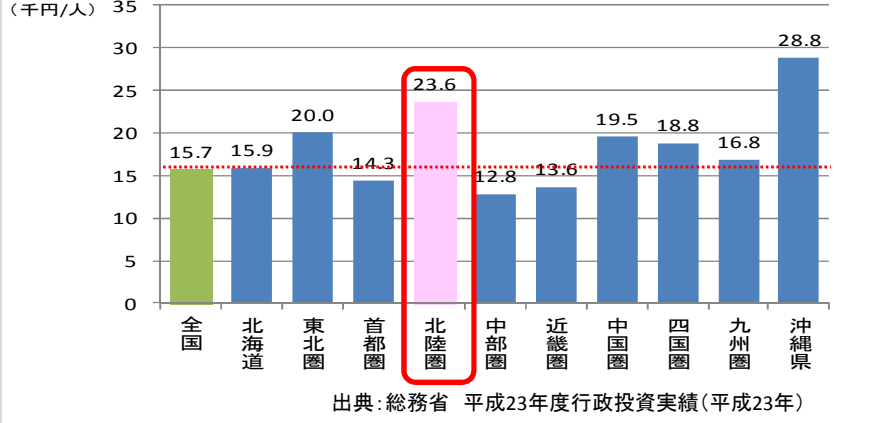
### ●児童のいる世帯における「共働き世帯(父母ともに就業)」の占める割合(圏域別)



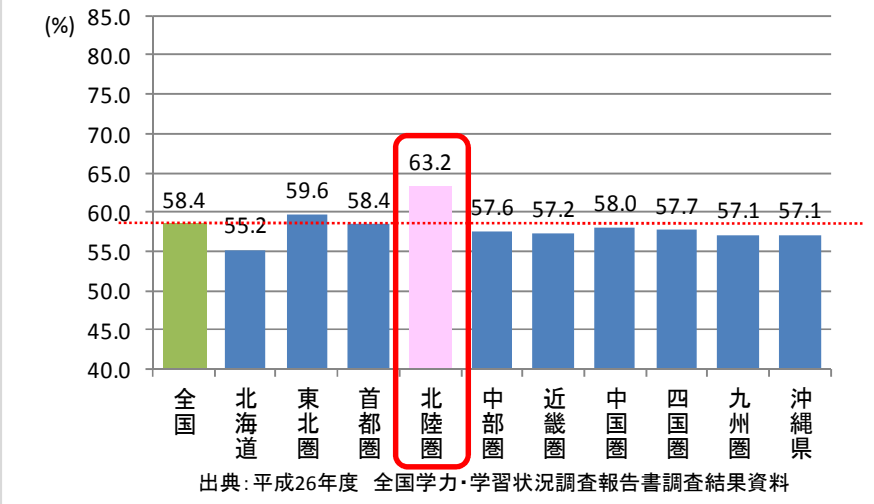
### ●1世帯当たり1年間の収入(県別)



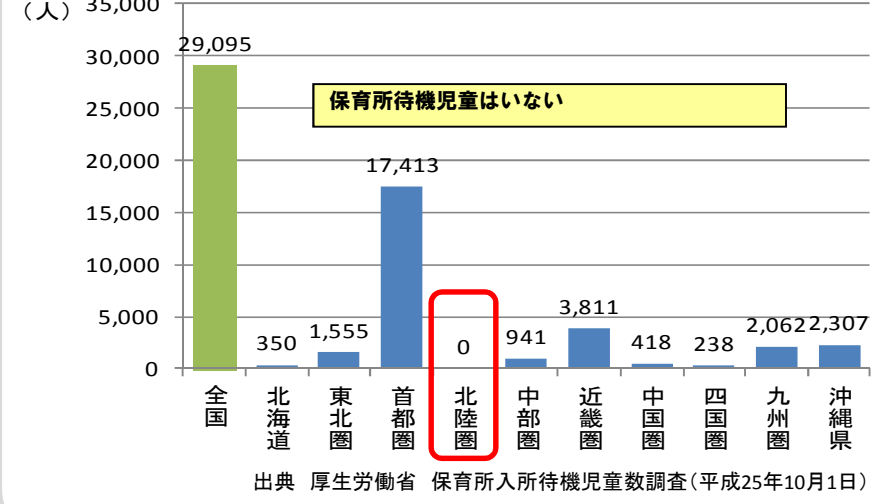
### ●文教施設投資額(人口1人当たり)(圏域別)



### ●平成26年度 全国学力・学習状況調査(圏域別、小学校、算数B)



### ●保育所待機児童数(圏域別)



## 課題2 少子化の進展及び若い世代の人口流出に歯止めをかける、雇用環境の充実

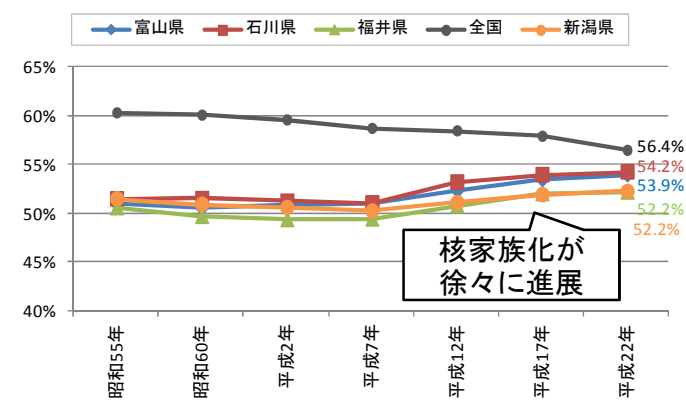
**課題(1) 少子化の進展を食い止める、優れた子育て環境の維持・向上**

- 核家族化の進展や若年層(特に女性)の減少が進む中、出生率はやや回復傾向にある。

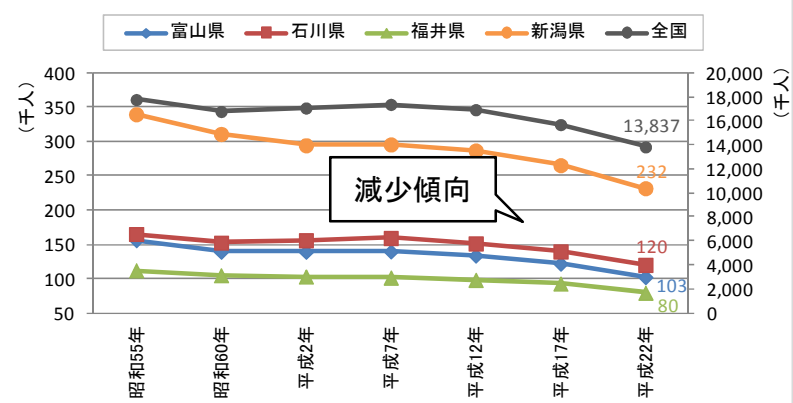
**課題(2) 若い世代の人口流出に歯止めをかける、優れた高等教育環境の向上**

- 北陸圏内高校を卒業した大学進学者の約半数が北陸圏以外に進学しており、北陸圏から若い世代の人材流出が進んでいる。

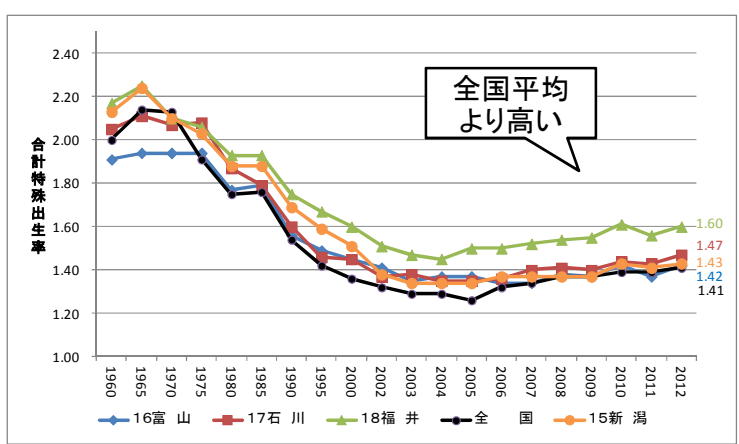
### ●核家族世帯が占める割合(県別)



### ●15~34歳の女性の人口(県別)

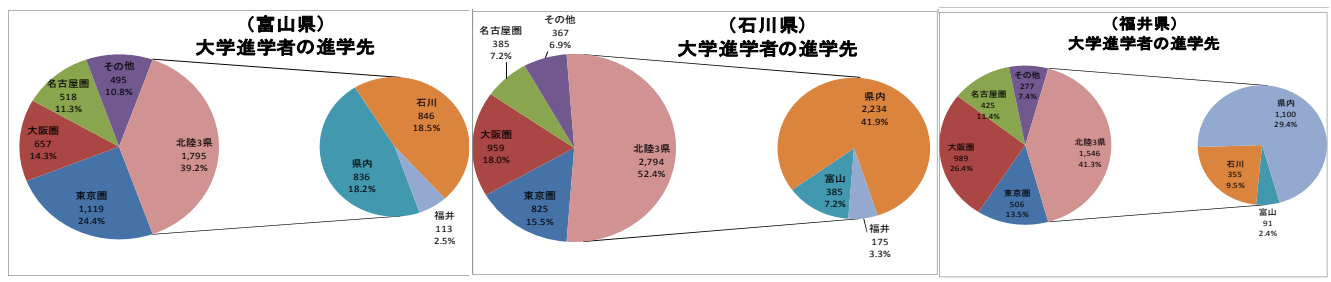


### ●合計特殊出生率の推移(県別)



出典: 人口動態調査  
出典: 総務省「国勢調査」(平成22年)

### ●北陸圏内高校卒業者の大学進学先



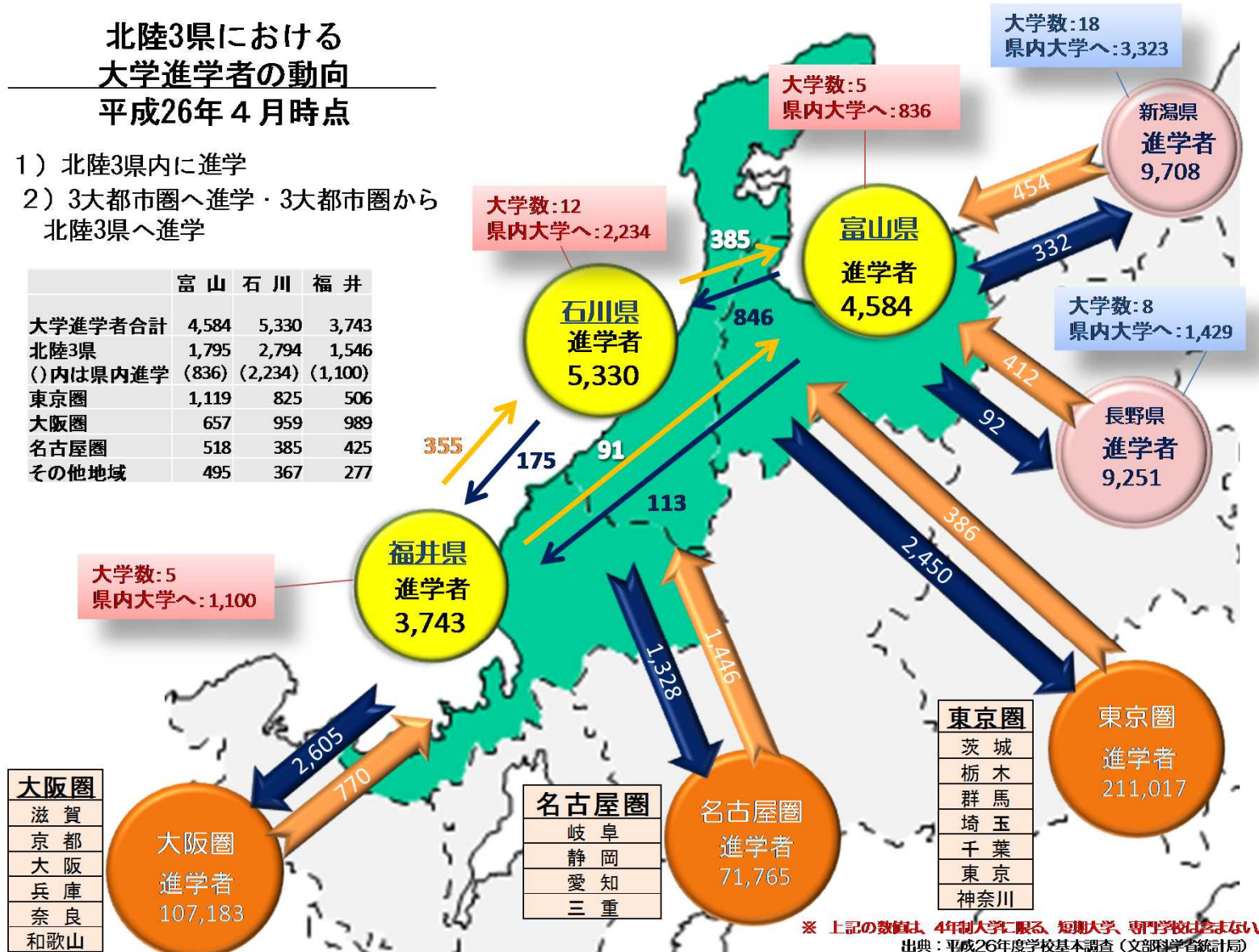
出典: 平成26年度学校基本調査

### ●北陸3県における大学進学者の動向(平成26年)

#### 北陸3県における大学進学者の動向 平成26年4月時点

- 1) 北陸3県内に進学
- 2) 3大都市圏へ進学・3大都市圏から北陸3県へ進学

	富山	石川	福井
大学進学者合計	4,584	5,330	3,743
北陸3県	1,795	2,794	1,546
( )内は県内進学	(836)	(2,234)	(1,100)
東京圏	1,119	825	506
大阪圏	657	959	989
名古屋圏	518	385	425
その他地域	495	367	277

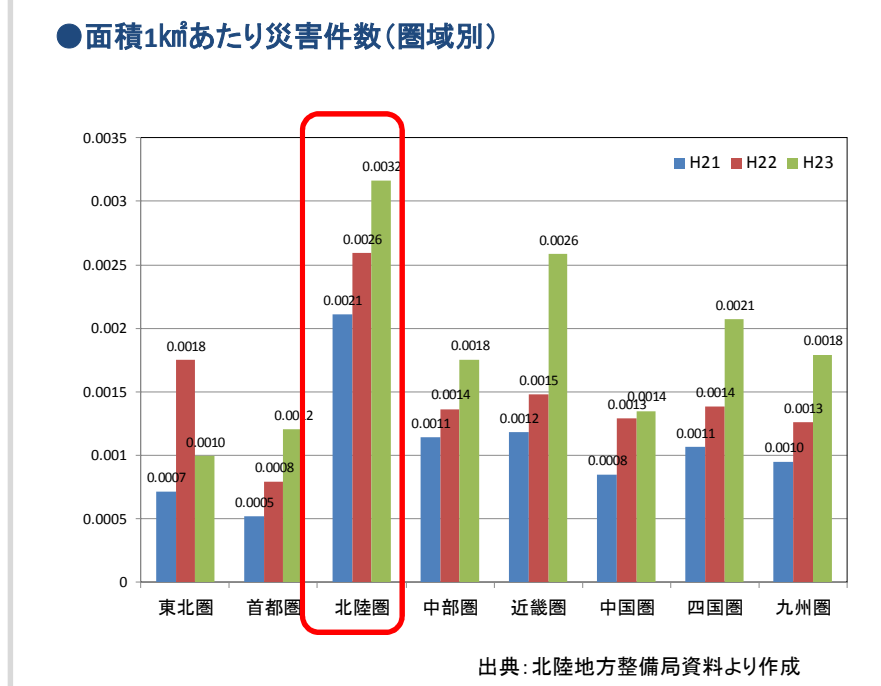


※ 上記の数値は、4年制大学に限る。短期大学、専門学校は含まない  
出典: 平成26年度学校基本調査(文部科学省統計局)

## 課題3 厳しい自然環境の中でも安全・安心で快適な生活レベルの維持・向上

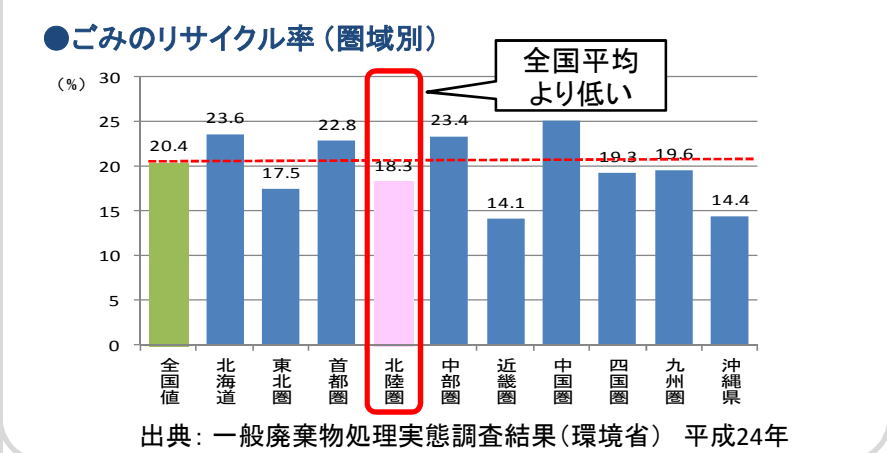
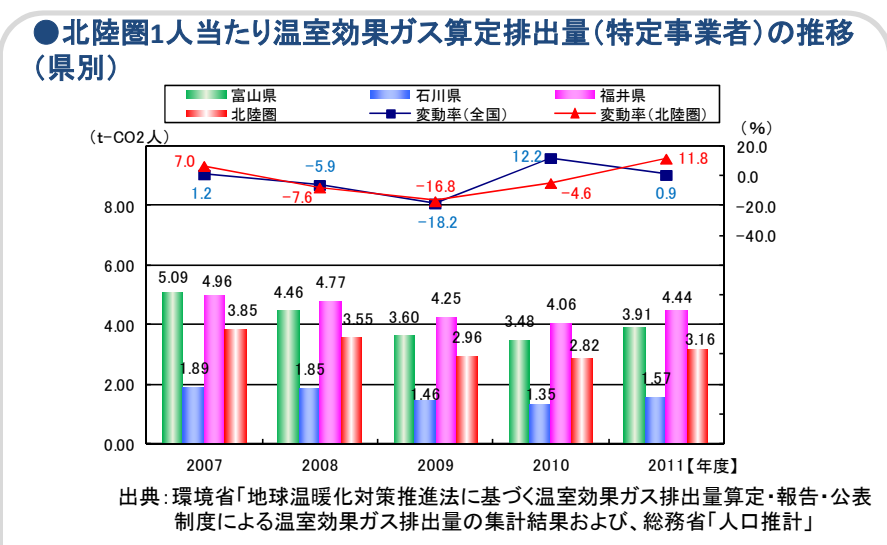
### 課題(1) 厳しい自然環境への対応と、豊かな自然資産の活用

- 美しく豊かな自然を有する反面、立山連峰等の山々から日本海に至る地形変化があり、風水害や土砂災害、豪雪等の厳しい自然環境にある。



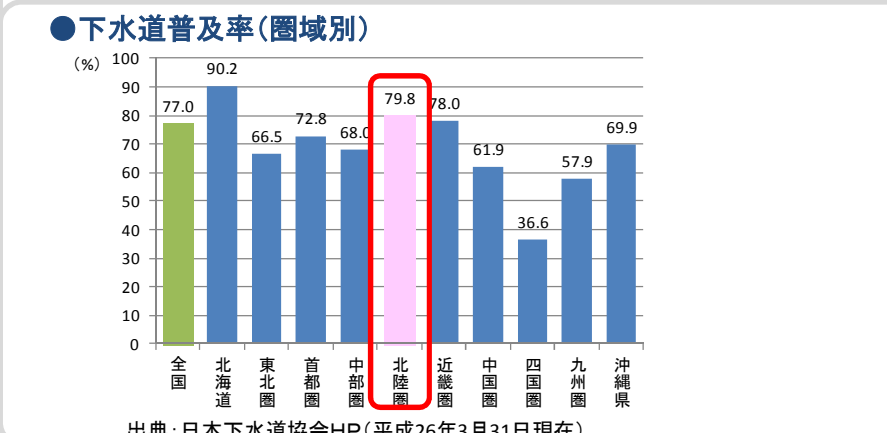
### 課題(2) 環境保全に対する人々の意識の向上

- 環境保全の関連プロジェクトへの参加の低迷、一人当たり温室効果ガス算定排出量やエネルギー起源CO2排出量の増加、さらにはリサイクル率が低下している。



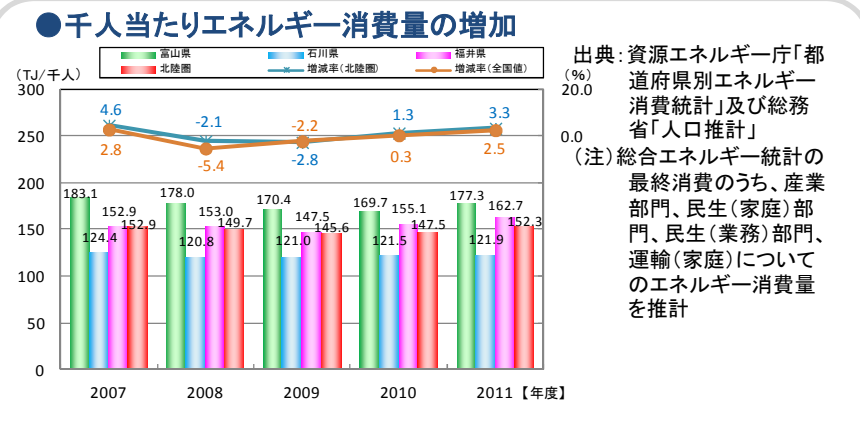
### 課題(4) 快適で安心できる居住環境の維持・向上

- 下水道普及率や人口1人当たり都市公園面積の高さ、全国トップの人口1人当たり社会教育費、全国平均より多い人口当たりの医師数など優れた居住環境にある。



### 課題(3) エネルギー開発等の更なる推進

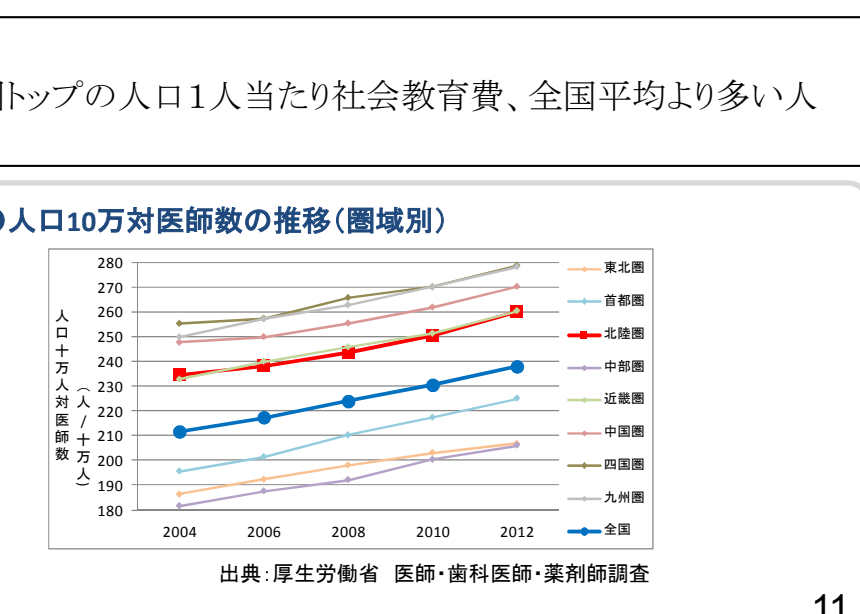
- エネルギー消費量や環境負荷の軽減に向けて、地域住民を巻き込んだ取組や新たなエネルギー開発のための技術開発等が進められている。



### ●環境負荷軽減・新たなエネルギー開発に向けた取組 福井県EV・PHVタウン構想(福井県)

出典：平成25年度北陸圏広域地方計画の推進状況について(北陸圏広域地方計画協議会)

福井県は、「EV・PHVタウン」の選定を受け、「福井県EV・PHV普及マスタープラン」を策定しており、平成25年度には、EV・PHV活用イベント促進事業(活用実績：7件)や次世代自動車充電インフラ整備促進事業(ビジョンNo.付与実績：37件44基)を実施した。



## 課題4 接続する都市群と半島や中山間地の共生

### 課題(1) 地方中核都市の接続や地域コミュニティがもたらす魅力ある暮らしの充実

・全国に先駆けた公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりの取組が進められている。一方、移動には自家用車の利用率が高い。

#### ●コンパクトシティの取組(富山市)

##### 富山市のまちづくりの基本方針 ～コンパクトなまちづくり～

鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に住居、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを実現



出典:富山市

#### ●利用交通手段から「自家用車のみ」の利用者の占める割合(県別)

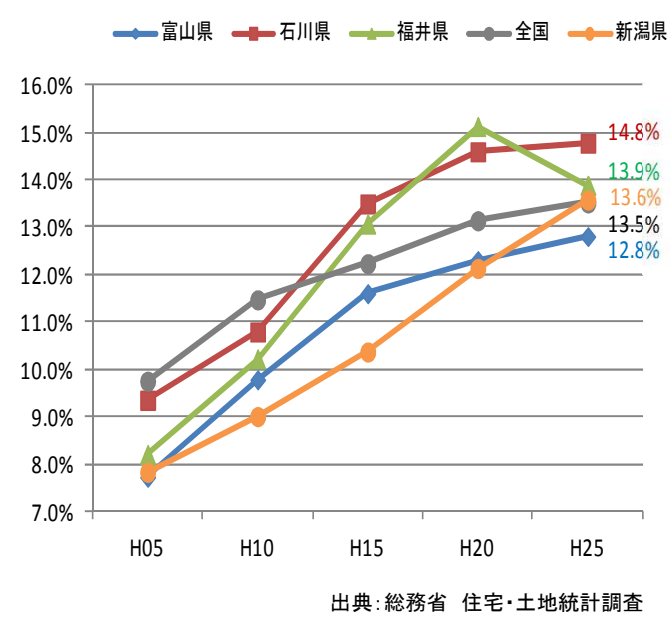
	自家用車のみ
富山	77.4%
石川	70.6%
福井	69.9%
新潟	72.0%
全国	46.5%

※平成22年 国勢調査  
「従業地・通学地による人口・産業等集計結果」

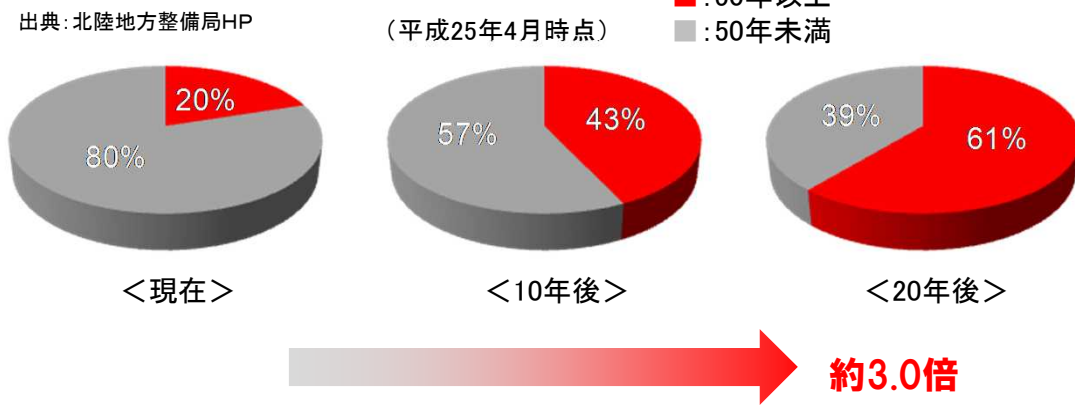
### 課題(2) 将来的な社会基盤施設の維持

・少子高齢化等による空き家の増加、インフラ施設の老朽化による維持管理・更新費が増大してきている。

#### ●空き家率の推移(県別)



#### ●建設後50年以上の道路橋(直轄)



### 課題(3) 半島や中山間地等での過疎化の進展への対応

・半島や中山間地等での著しい人口減少の中、小規模高齢化集落も増加している。

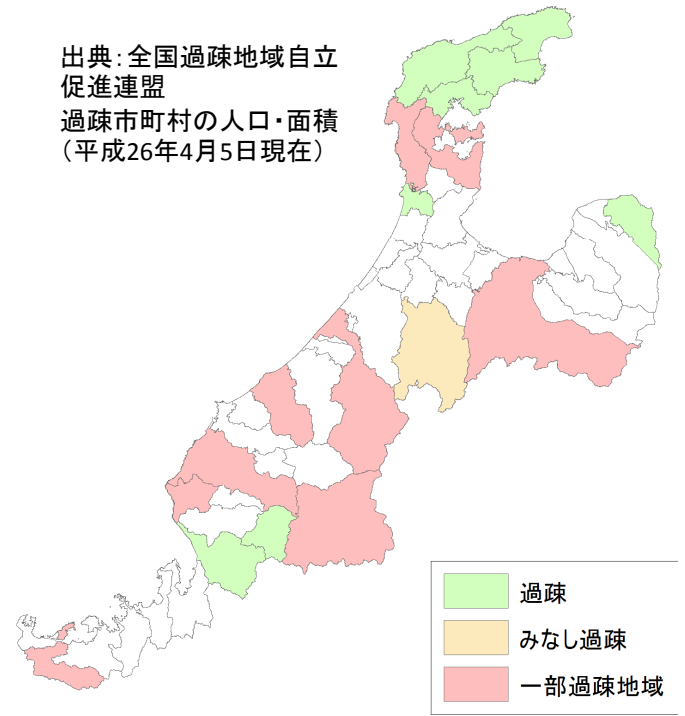
#### ●存続危機集落(人口9人以下、高齢化率50%以上)率の現状と今後の予測(県別)

都道府県名	総集落数	存続危機集落率(%) (人口が9人以下&高齢化率50%以上)		
		2010年	2030年	2050年
北海道	7,135	5.5	10.5	22.5
青森	1,785	1.6	2.2	5.0
岩手	3,615	0.6	1.7	4.6
宮城	2,644	0.3	0.8	1.7
秋田	2,765	2.1	3.0	6.4
山形	2,725	3.1	4.3	6.9
福島	4,152	0.6	1.3	3.8
茨城	3,816	0.0	0.3	1.0
栃木	3,311	0.2	0.4	1.4
群馬	2,018	0.9	2.5	5.7
埼玉	4,066	0.8	1.2	2.5
東京	3,517	0.1	0.2	0.7
神奈川	166	0.0	2.4	8.4
新潟	1,409	0.4	0.5	0.8
富山	5,088	3.4	5.5	9.5
石川	2,220	5.0	7.6	11.0
福井	1,931	4.0	8.0	16.2
山梨	1,818	2.3	4.1	6.7
長野	1,614	1.7	4.9	10.9
岐阜	4,736	3.0	6.3	11.6
愛知	3,118	1.9	2.9	5.6
静岡	3,366	1.1	2.1	4.8
愛知	3,094	0.3	1.2	3.4
三重	2,109	1.6	3.6	7.3
滋賀	1,549	1.2	1.5	3.0
京都	1,693	1.9	4.7	10.7
大阪	777	0.0	0.3	1.2
兵庫	3,745	0.6	1.6	3.7
奈良	1,446	1.1	4.2	9.1
和歌山	1,597	1.6	5.8	13.1
鳥取	1,626	1.1	3.2	7.7
島根	4,088	2.5	7.5	18.3
岡山	4,576	1.1	3.6	9.7
広島	5,258	2.9	6.7	15.8
山口	4,191	3.0	8.4	19.0
徳島	2,247	4.2	10.0	19.9
香川	3,179	1.0	3.0	6.4
愛媛	3,196	3.3	8.6	18.9
高知	2,459	4.9	11.9	22.6
福岡	3,461	0.4	0.8	2.5
佐賀	1,935	1.0	1.6	2.9
長崎	2,947	1.3	2.3	5.5
熊本	4,208	0.9	2.2	7.0
大分	3,313	2.1	6.3	16.6
宮崎	2,663	2.2	4.3	11.8
鹿児島	6,059	2.4	5.7	14.4
沖縄	745	0.0	0.4	1.5
全国計	139,176	1.9	4.3	9.4

注(1) 総集落数および2010年の集落率は2010年農山村地域調査による。なお、存続危機集落には人口がゼロの集落を含む。  
 注(2) 2030年および50年の集落率は、集落別の国勢調査メッシュ人口を用いたコーホート分析により推計した集落数に基づく。  
 注(3) 2050年の存続危機集落率が10%を超える都道府県を網掛けした。  
 (注) 集落人口9人以下で集落活動が顕著に低下、高齢化率50%以上で農業生産活動が停滞

出典:農林水産省農林水産政策研究所 研究成果報告会(2014.10.28)

#### ●北陸圏の過疎地域自立促進特別措置法上の過疎地域

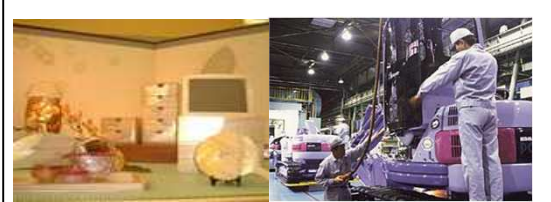
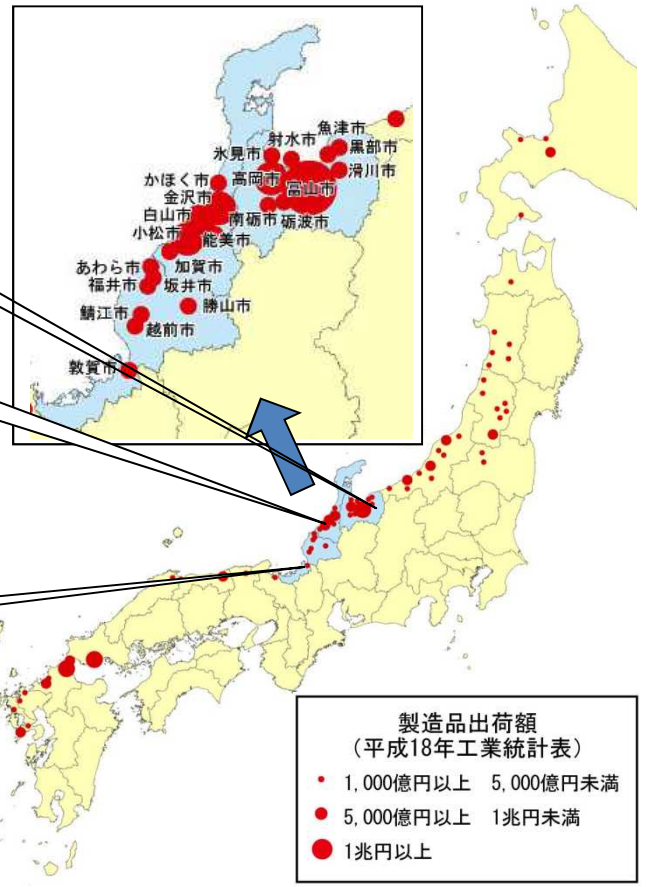


# 北陸圏の現状と課題

## 課題5 地理的優位性と北陸ブランド力を生かした産業・営農の強化

課題(1) 特徴ある世界レベルの産業の集積や人材、伝統産業によって時代の変化に対応（研究開発体制、担い手育成の強化、中高年のスキル人材としての活用）

- ・多数の世界ニッチトップ企業群等特徴ある産業や伝統産業の集積する製造品出荷額の多い都市が接続している。



## 課題(3) 三大都市圏との地理的環境のより一層の活用

- ・新幹線や高速道路等の交通体系が充実してきている。

### ●北陸の社会基盤整備状況



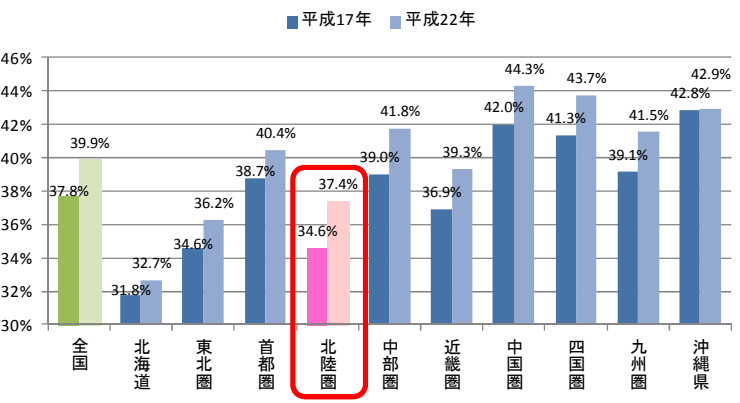
## 課題(4) ポテンシャルの高まる国際物流環境の充実

- ・北極海航路、パナマ運河拡張による物流構造の変化、ユーラシアダイナミズムのなかで東アジアやロシアとの貿易が増加してきている。

## 課題(2) 新規就農者の確保と地域ブランド力の更なる強化

- ・農林水産業従事者数の減少と高齢化の進展、耕作放棄地も増加しつつあるが、一方で、6次産業化の取組も進められている。

### ●農業従事者に占める65歳以上人口の割合(圏域別)

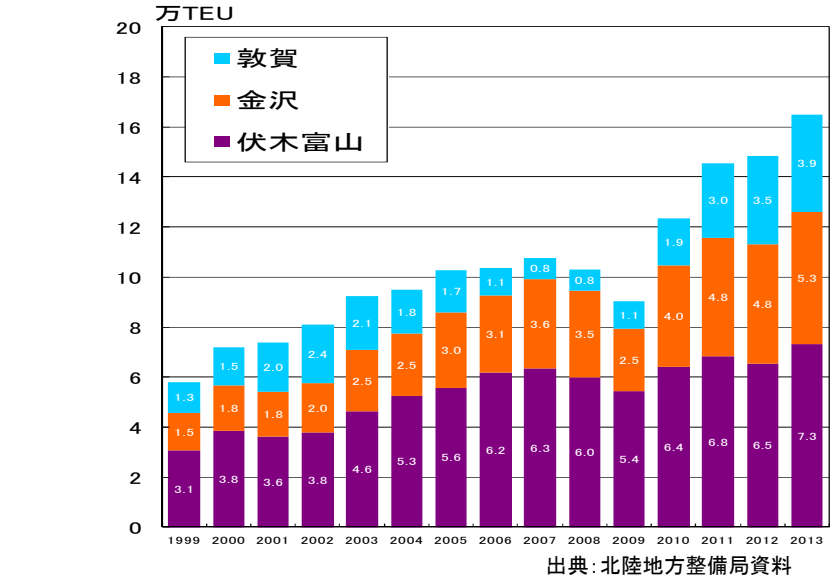


### ●はとむぎの6次産業化(優良事例)



「はとむぎ茶」の商品化・ブランド化に取り組むと共に、医学的・薬学的見地から証明されたがんの予防効果や美肌効果が見込める「はとむぎエキス」の開発し、農産物の高付加価値化を推進している。

### ●北陸圏3港におけるコンテナ取扱量の推移







## 課題7 優れた観光資源を活かした、国内外誘致のための取組

### 課題(1) 多様な観光資源、食文化、農業・産業資源を活かした、多数の観光誘客の促進

- ・武家・宗教文化や多数の世界文化遺産登録候補地、能登や立山等を始めとした自然や豊かな食や食文化、福井の恐竜や産業観光への取組等、個性ある多彩な観光資源や食文化等を有している。

#### ●多様な文化

**伝統行事・祭り**

- 富山県・滑川のネブタ流し(重要無形民俗文化財) 【出典】経済産業省HP
- おわら風の盆 【出典】「平成17年度都市景観大賞『美しいまちなみ賞』受賞地区概要」
- 輪島山祭 【出典】輪島市観光協会
- 新田燈籠山祭り 【出典】国土交通省総合政策局HP
- 八尾山山祭 【出典】国土交通省総合政策局HP
- 火の太鼓 【出典】三國町観光協会HP

**世界文化遺産登録候補**

- 近世高岡の文化遺産群 【出典】富山県HP
- 城下町金沢の文化遺産群と文化的景観 【出典】金沢市HP
- 立山・黒部～防災大国日本のモデル-石川-能登- 【出典】富山県HP
- 若狭の社寺建造物群と文化的景観 【出典】小浜市HP
- 富嶺白山と山麓の文化的景観-白鷺-土佐-石川- 【出典】石川県HP

**武家文化・歴史・伝統工芸品**

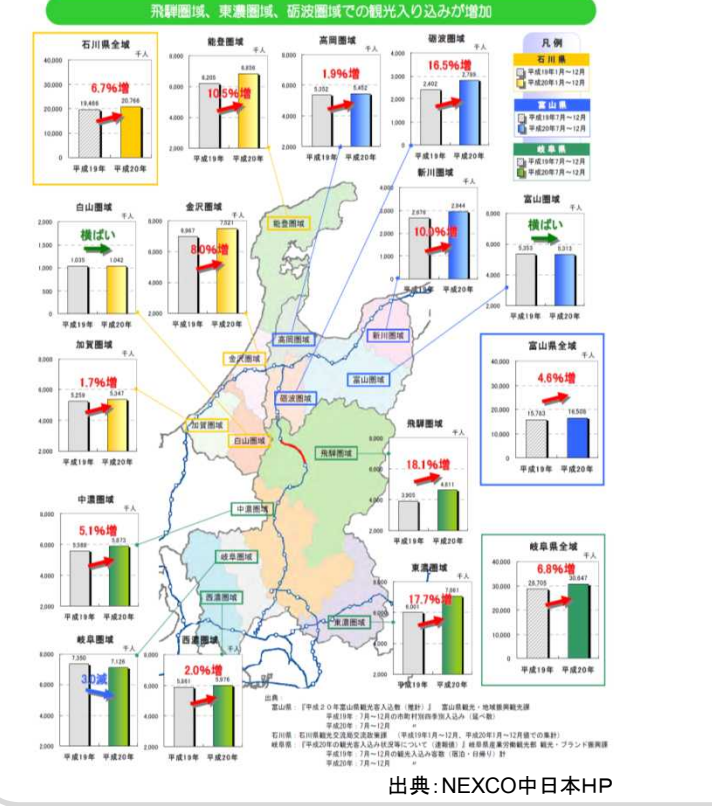
- 兼六園 【出典】石川県HP
- 永平寺 【出典】永平寺町HP
- 越前漆器(重要伝統的建造物群保存地区) 【出典】若狭越前街道観光局HP
- 高岡銅器 【出典】とやまブランドHP
- 越前漆器 【出典】福井県HP
- 全国ブランドの伝統工芸の産地 【出典】石川県HP

**世界遺産 白川郷・五箇山合掌造り集落**

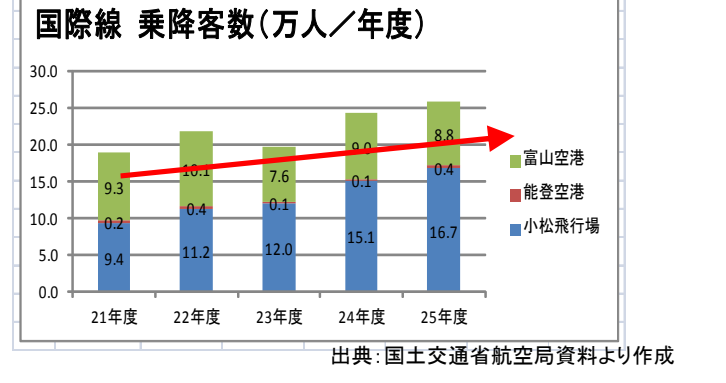
### 課題(2) 交通ネットワークや設備環境充実による国内外観光客の更なる拡充

- ・東海北陸自動車道、能越自動車道の開通や舞鶴若狭自動車道の全線開通による隣接圏域からの観光客の増加や国際航空便・国際便乗降客数の増加など交通ネットワークが充実してきている。

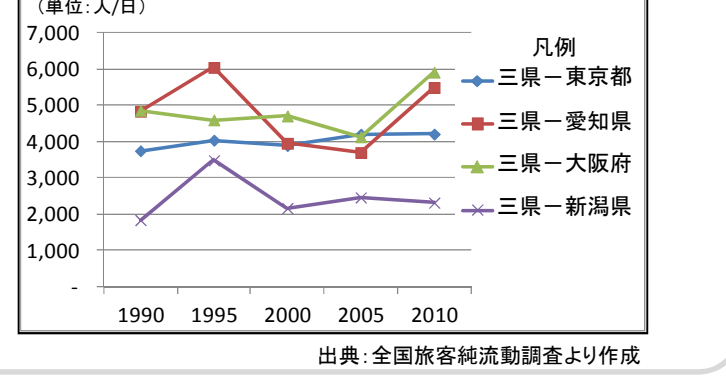
#### ●観光入込客数の推移



#### ●北陸圏における国際航空便及び国際便乗降客数の増加



#### ●三大都市圏との旅客量の増加



### 課題(3) 国際的に認められた北陸の魅力とその周知の向上

- ・ロンリープラネット(2014年)で魅力度4位となるなど、国際的にも認められつつある。

#### ●ロンリープラネットで魅力度4位

4. Hokuriku, Japan  
The crowds are coming...



Hokuriku, on [Honshū's](#) west coast, bordered by the Sea of Japan and the magnificent Japan Alps, is saturated with culture, history and striking natural beauty. The city of [Kanazawa](#) is king, but is often overlooked by time-poor visitors who favour the more accessible sights to the east. That's all about to change. In March 2015, the first of the long-anticipated Hokuriku shinkansen (bullet trains) will roll into town, slashing travel times from Tokyo and giving visitor numbers a meteoric boost. Kanazawa is second only to Kyoto for its population of authentic working geisha. Photogenic districts radiate from the site of the former Kanazawa Castle and Kenroku-en, one of Japan's finest gardens. Rent a car and explore the dramatic scenery of the Noto Peninsula, or dissolve yourself in the sumptuous waters and incomparable ryokan of the Kaga Onsen area.

Read more: <http://www.lonelyplanet.com/travel-tips-and-articles/lonely-planets-best-in-travel-2014-top-10-regions#ixzz3MROxdShz>

#### ●都道府県別延べ宿泊者数(平成25年1月~12月)

